

# 春のトンボ調査会

ジュンサイを残そう市民の会 2021年5月16日(日)

例年一般の参加者を募集して『トンボ観察会』を実施していますが、今年新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会員による調査のみ行いました。

講師 互井 賢二氏 房総蜻蛉研究所(行徳トンボ研究室)



天気はくもり。  
飛んでいるトンボがほとんど見当たらない中での調査となりました。

草の高さで網をふり、イトトンボなどを捕獲しました。

こんなに大きい網で捕獲します。

捕獲したトンボは、大きなメッシュの虫かごに入れます。

調査後、リリースします。

調査終了後、雨が降り出しました。  
何とか調査を終えられて良かったです。



## クロスジギンヤンマ

ジュンサイの鉢に、クロスジギンヤンマの羽化殻が3個ありました。

成虫は、気温が低い時は、しばらくじっとして、翅をプルプルさせてから飛び立ちます。



## シオカラトンボ



塩こんぶの白い色に似ているので、シオカラトンボというそうです。  
この♂は、これからだんだん尾部が白くなっていきます。

♀は未熟色の黄褐色なので、ムギワラトンボともよばれます。

# 春のトンボ調査会

ジュンサイを残そう市民の会 2021年5月16日(日)

例年一般の参加者を募集して『トンボ観察会』を実施していますが、今年新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会員による調査のみ行いました。

講師 互井 賢二氏 房総蜻蛉研究所(行徳トンボ研究室)

## ショウジョウトンボ

♂♀の見分け方



未成熟(♀)

- ①体の色 ♀は黄褐色  
♂は成熟すると真っ赤に
- ②尾端の形 ♀は四角い  
♂は三角

♀は捕食者に狙われないように、目立たない色をしています。

♂は、♀にアピールするため、目立つ色になるようです。

羽化したばかりは、♂も♀も体色はミルクティ色で、♂の翅は透明ですが、基部は濃橙色があり、♂は、成熟するにつれて、体は鮮やかな赤色になります。7-10日間で成熟します。

写真のトンボは、羽化後間もない♀で、翅も体も柔らかいです。

## アオモンイトトンボ

アオモンイトトンボ♂は、実際に近くで見た方が、鮮やかな印象を受けました。

でも少し離れると、細く小さいので、すぐ見失ってしまいます。



## アジイトトンボ

アオモンイトトンボよりも華奢な体ですが、都会の高い所を飛んでいるタフなトンボです。

ヤゴは多かったのですが、この日はアオモンイトトンボが多かったです。



### じゅん菜池管理地内 調査結果

- ・クロスジギンヤンマ 2♂(目撃) (羽化殻3、羽化失敗1)
- ・シオカラトンボ 3♂
- ・ショウジョウトンボ 1♀
- ・アオモンイトトンボ 7♂1♀
- ・アジイトトンボ 1♂
- 合計15頭